

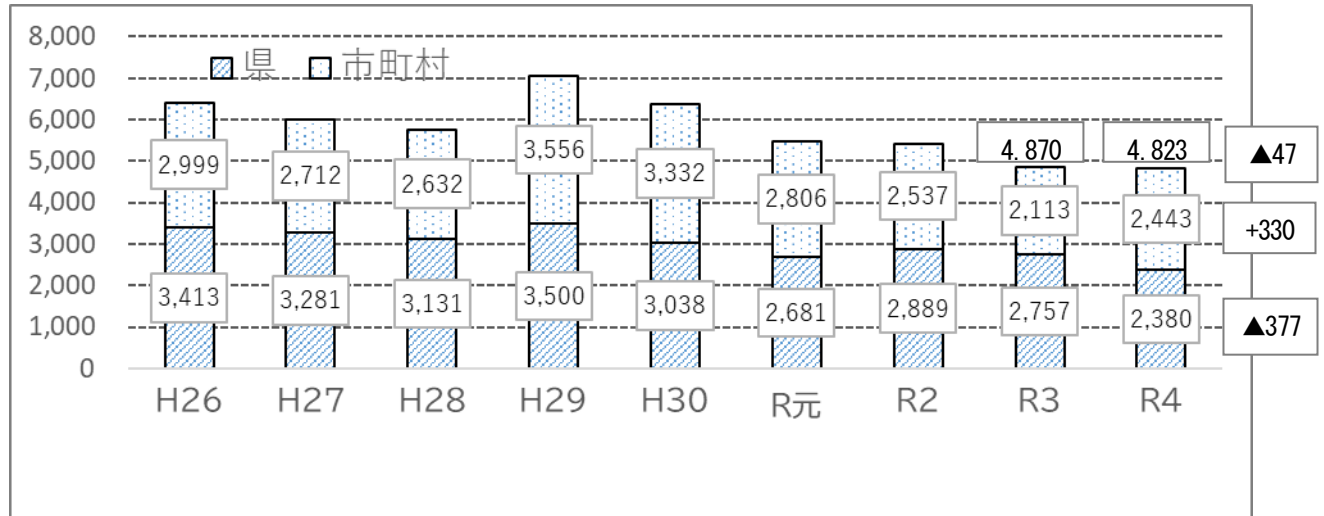
## 令和4年度消費生活相談の概要について

令和4年度の県内消費生活相談の状況についてお知らせします。

### 1 令和4年度消費生活相談の概要

- 県及び市町村の消費生活相談窓口への相談件数は4,823件であり、前年度比で47件(1.0%)減少した。
- 内容別では、商品一般(身に覚えのない請求、引き落とし等)に関する相談が昨年度に引き続き最多となった(465件、構成比9.6%)。
- 年代別では、70歳以上を当事者とする相談が最多(1,097件、構成比22.7%)で、次いで60歳代(804件、同16.7%)となっており、依然として高齢者からの相談割合が大きい。
- 若者を当事者とする相談は、19歳以下は前年度比で減少したが、20歳代は80件(32.4%)増加し、融資サービス(多重債務、サラ金)、自動車、理美容、内職・副業などに関する相談割合が他の年代に比べて大きかった。

#### 【相談件数の年度別推移】



#### 【主な相談内容】

順位(前年)	相談内容	件数(構成比)	順位(前年)	相談内容	件数(構成比)
1 (1)	商品一般(身に覚えのない請求、引き落とし等)	465(9.6%)	6 (2)	相談その他(個人間借金、労働相談など消費者問題以外の相談)	178(3.7%)
2 (4)	化粧品(美容液、ニキビクリーム等の定期購入等)	378(7.8%)	7 (10)	レンタル・リース・賃借(賃貸住宅、レンタル・リースサービス)	169(3.5%)
3 (6)	融資サービス(多重債務、サラ金・ローン等)	211(4.4%)	8 (5)	他の教養・娯楽(インターネットゲーム、出会い系サイト、ギャンブル等)	152(3.2%)
4 (3)	役務その他(不用品回収、保険申請サポート、占いサイト等)	194(4.0%)	9 (7)	娯楽等情報配信サービス(アダルト情報、音楽配信、映像配信等)	138(2.9%)
5 (8)	健康食品(食品、サプリメント等の定期購入等)	188(3.9%)	10 (11)	工事・建築・加工(各種工事、リフォーム等)	116(2.4%)

#### 【契約当事者の年代別相談件数】

区分	R4	構成比%	R3	構成比%	R3~R4増減 [増減率%]
19歳以下	115	2.4	121	2.5	△6 [△5.0]
20歳代	327	6.8	247	5.1	80 [32.4]
30歳代	358	7.4	369	7.6	△11 [△3.0]
40歳代	604	12.5	596	12.2	8 [△1.3]
50歳代	701	14.5	616	12.6	85 [13.8]
60歳代	804	16.7	841	17.3	△37 [△4.4]
70歳以上	1,097	22.7	1,052	21.6	45 [4.3]
不明	817	17.0	1,028	21.1	△211 [△20.5]
計	4,823	100.0	4,870	100.0	△47 [△1.0]